

四病院団体協議会 「看護基準に関する緊急アンケート」報告

四病院団体協議会

(社)日本病院会・(社)全日本病院協会・(社)日本医療法人協会・(社)日本精神科病院協会

2010年1月29日

看護基準に関する緊急アンケート まとめ①

本アンケートは四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）の会員病院の中から無作為に抽出した496病院を対象に実施した。

平成22年1月19日～21日の3日間の調査期間にもかかわらず411病院から回答があった。（回答率82.9%）
回答者は、看護部長・師長もしくは看護職員配置責任者であり、回答率の高さは、現在の看護基準における月平均夜勤72時間規制に対する何らかの改善を望む現場の声であると考える。

1. 看護師の就労の現状について

- 「看護師の充足状況」については、71.8%が大いに不足もしくは不足と回答
- 「看護師求人の反応」については、82.9%が極めて悪いもしくは悪いと回答
➢ 看護師の充足については、多くの病院が不足しており、採用については厳しいと答えている。

2. 看護基準における夜勤平均72時間規制及びその影響について

- 「毎月行う夜勤72時間の勤務調整」については、71.1%が、極めて困難もしくは困難と回答
- 「72時間規制後の夜勤状況」については、71.1%がとても厳しくなったもしくは厳しくなったと回答
- 「医療安全への寄与」については、71.5%が、逆効果もしくは効果はないと回答
➢ 月平均夜勤72時間規制による勤務調整は難しく、また夜勤状況も厳しくなったと感じている。

看護基準に関する緊急アンケート まとめ②

3. 今後の看護基準について(複数回答)

- 「柔軟な勤務体系にできることが望ましい」を希望する回答は73.5%
- 「現行より緩やかな規制が望ましい」が62.8%
- 「現行の基準が適当」は11.7%及び「月平均時間はもっと短縮すべき」が6.8%
➤現場では月平均夜勤72時間規制に対する緩和を求める声大きいことがわかる。

4. 設立主体別(国公立・公的)

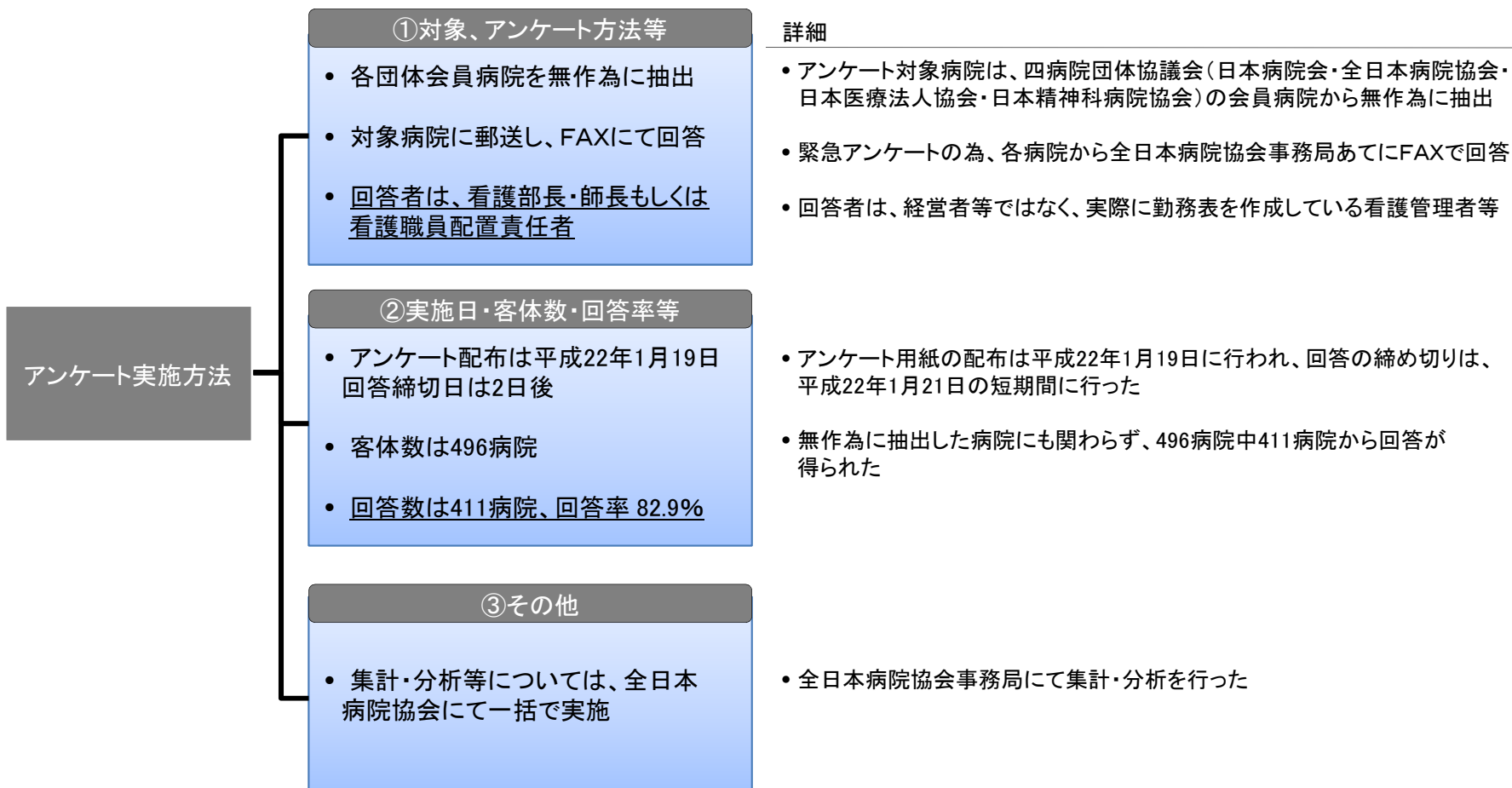
- 「毎月行う夜勤72時間の勤務調整」について、「困難」と回答している割合が41.9%と全体回答62.8%より20ポイント程度低い
- 「72時間規制後の夜勤状況」については、「厳しくなった」と回答している割合が34.9%と全体回答62.8%より28ポイント程度低い
➤国公立・公的病院は他の設置主体より、月平均夜勤72時間規制に困っていない状況が伺える。

5. 病床規模別

- 「毎月行う夜勤72時間の勤務調整」について、「199床以下」は「200床以上」より、「極めて困難」及び「困難」と回答している割合が8ポイント程度高い
- 「72時間規制後の夜勤状況」については、「とても厳しくなった」及び「厳しくなった」と回答している割合が10ポイント程度高い
➤病床規模が小さいほど苦勞している状況が伺える。

無作為抽出、短期間にて実施したアンケートであったが、80%を超える回答が得られた・・・関心の高さが伺える

アンケートの実施方法



調査票の項目は、以下の通り

アンケート内容

I. 属性について

1. 所在地 ()都道府県
2. 設立主体 ①国公立 ②公的 ③医療法人 ④個人 ⑤その他
3. 病床種別 一般病院 _____床 療養病床 _____床 精神病床 _____床 全病床計 _____床

II. 算定している看護基準をお教え下さい

- 一般病床 ①7:1 ②10:1 ③13:1 ④15:1
療養病床 ⑤20:1 ⑥25:1
精神病床 ⑦10:1 ⑧15:1 ⑨18:1 ⑩20:1

III. 看護師(准看護師除く)就労の現状についてお答えください

1. 看護師の充足度合はいかがですか ①大いに不足 ②不足 ③充足 ④十分充足
2. 看護師求人の反応はいかがですか ①極めて悪い ②悪い ③良好 ④極めて良好

IV. 夜勤平均72時間規制についてお答えください

1. 毎月行う夜勤72時間の勤務調整はいかがですか ①極めて困難 ②困難 ③容易 ④極めて容易
2. 72時間規制後、夜勤の状況はどう変化しましたか ①とても厳しくなった ②厳しくなった ③楽になった ④とても楽になった
3. 72時間規制は医療安全に寄与しましたか ①逆効果である ②効果はない ③寄与した ④大いに寄与した

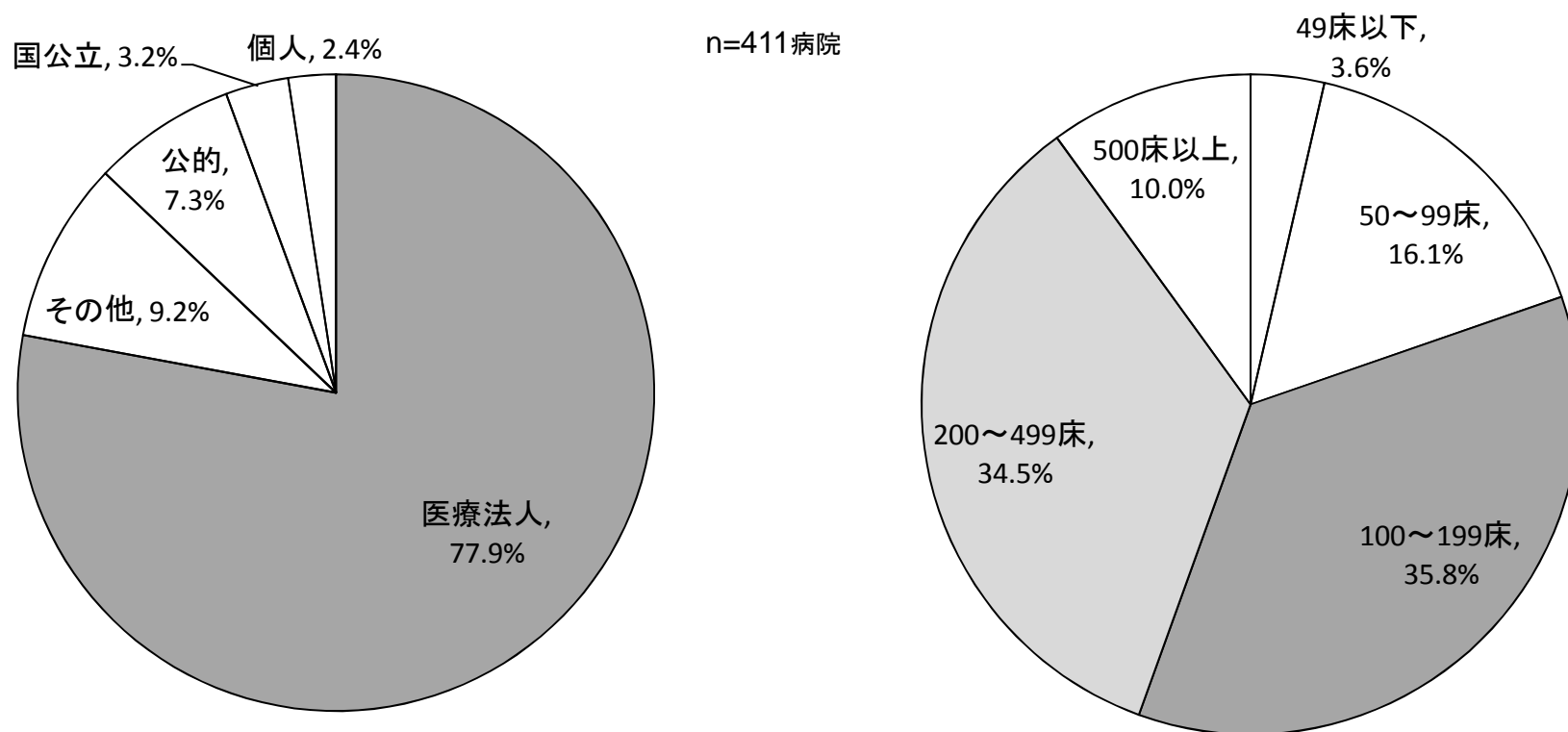
V. 今後の看護基準はどのようにすべきだと考えますか(複数回答可)

- ①看護師個々のライフスタイルに適した柔軟な勤務体系にできることが望ましい
- ②現行より緩やかな規制が望ましい
- ③現行の基準が適当である
- ④月夜勤平均時間は、もっと短縮すべきである

アンケート結果

設立母体の約8割は医療法人であり、病床規模は100～199床と200～499床未満で全体の約7割を占める

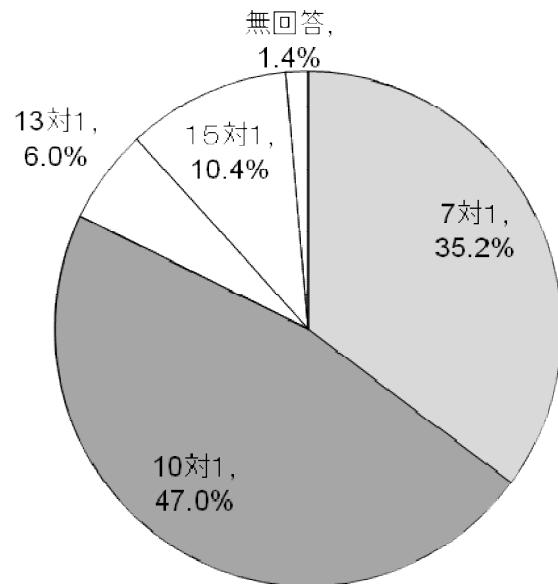
設立母体・病床規模



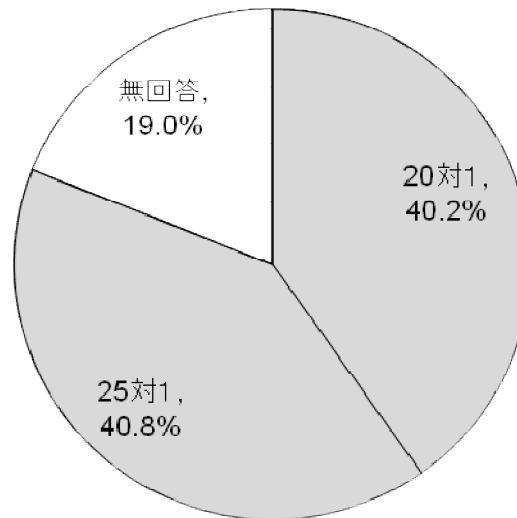
一般病床では、7対1及び10対1が8割強、療養病床では、20対1と25対1は約4割ずつとほぼ同じ、精神病床では15対1が全体の8割強であった

病床種別・看護基準

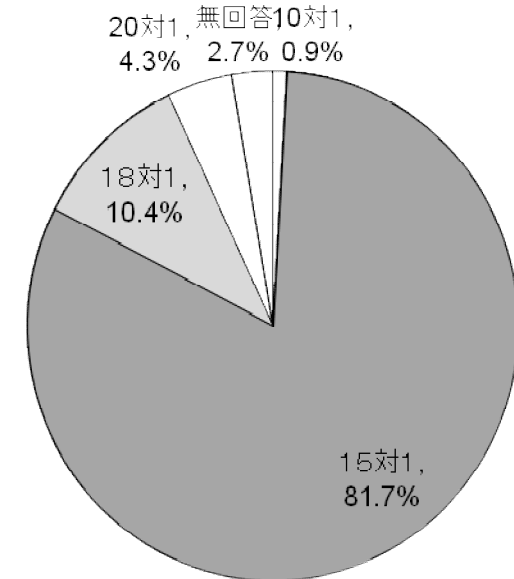
一般病床(298施設)



療養病床(169施設)



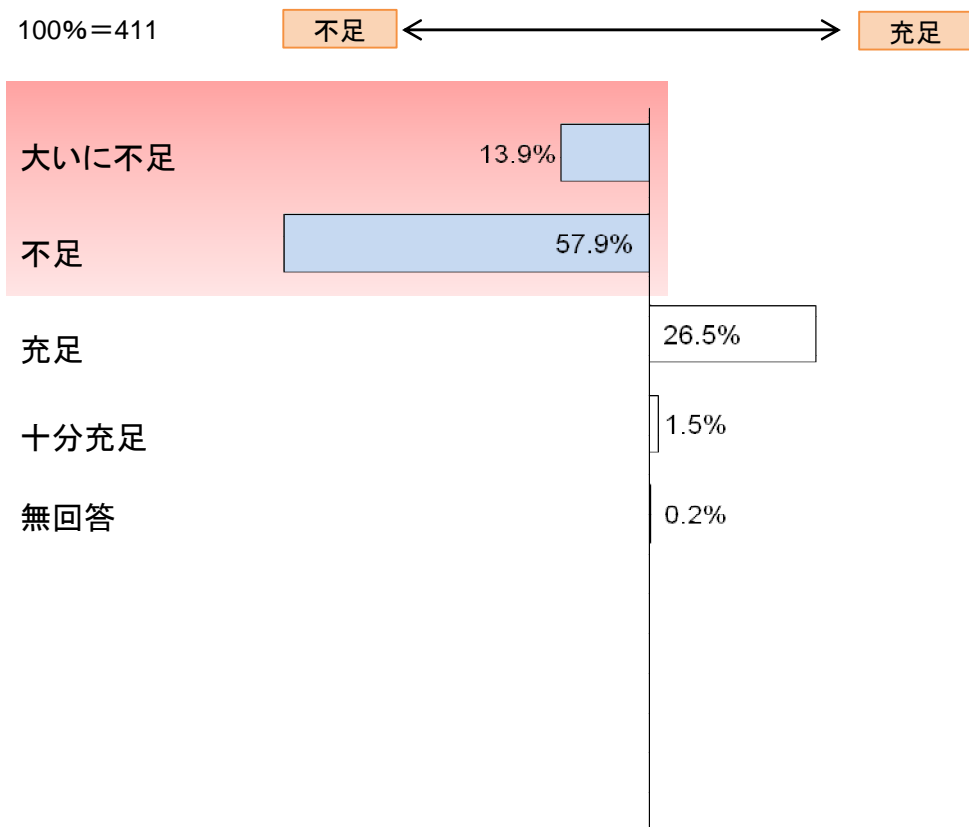
精神病床(115施設)



- * 複合でそれぞれの病床を持つ病院があるため、施設数の合計と回答病院数の合計は一致しない
- * 無回答の多くは特定入院料を算定している病床

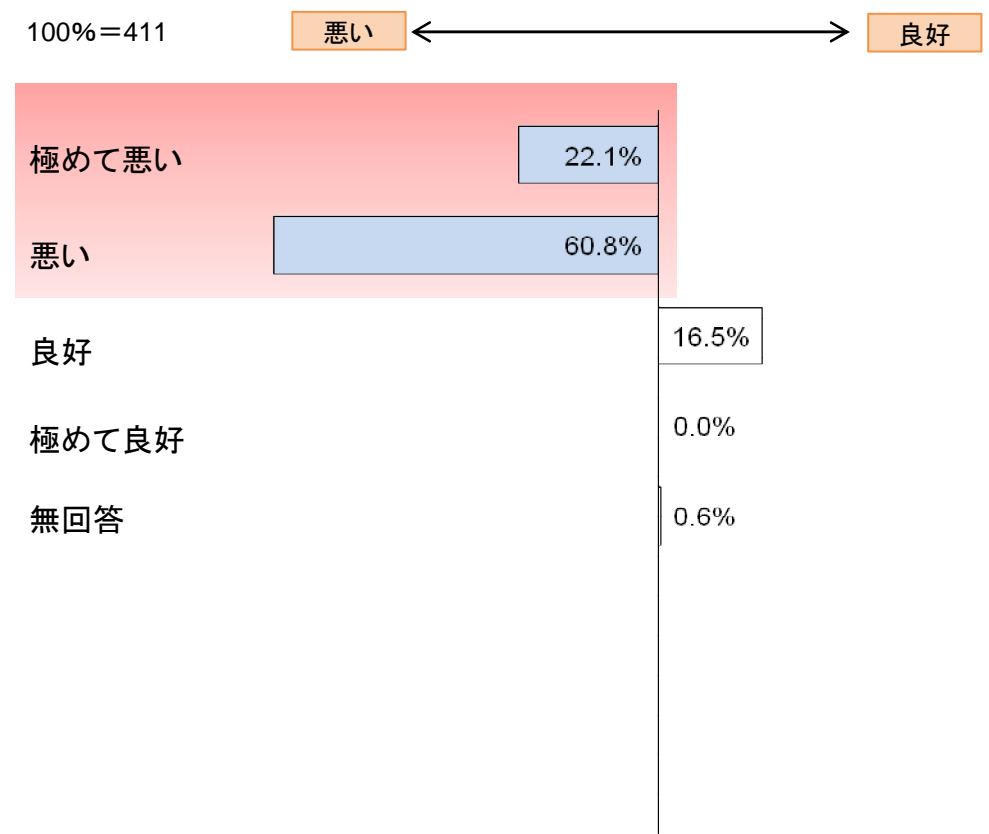
全体の約70%が、看護師は大いに不足または不足と回答している

看護師の充足度



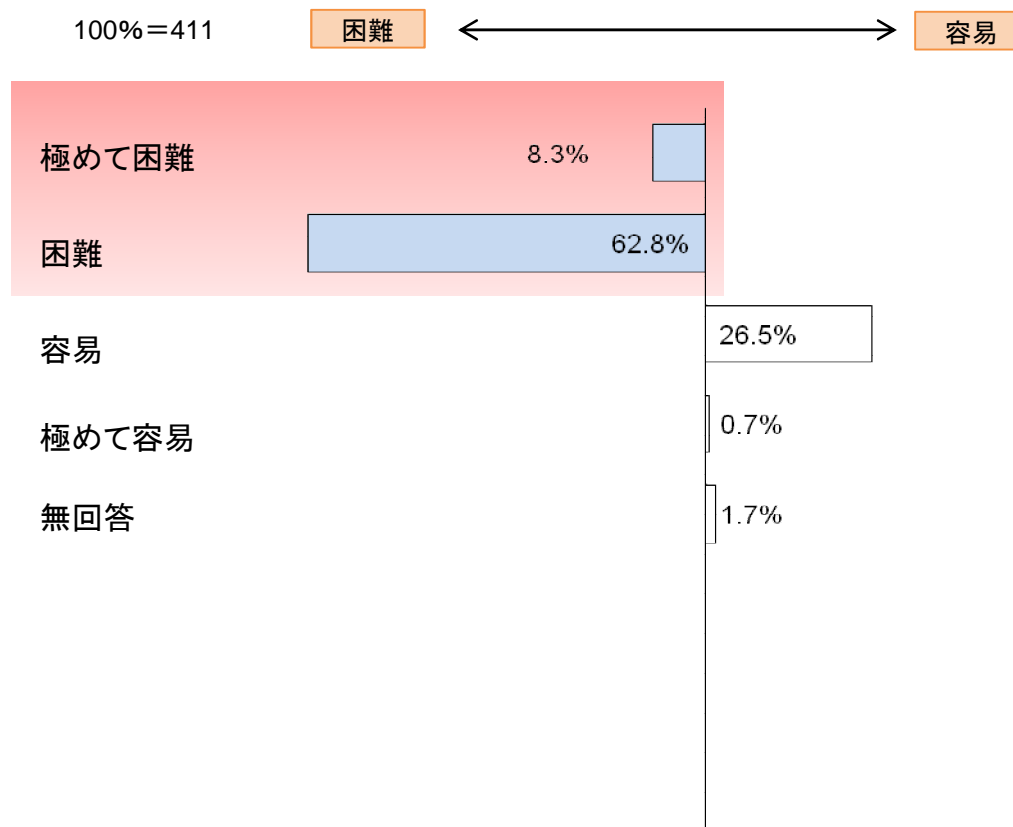
全体の8割強が、看護師求人の反応が極めて悪いもしくは悪いと回答している

看護師求人の反応



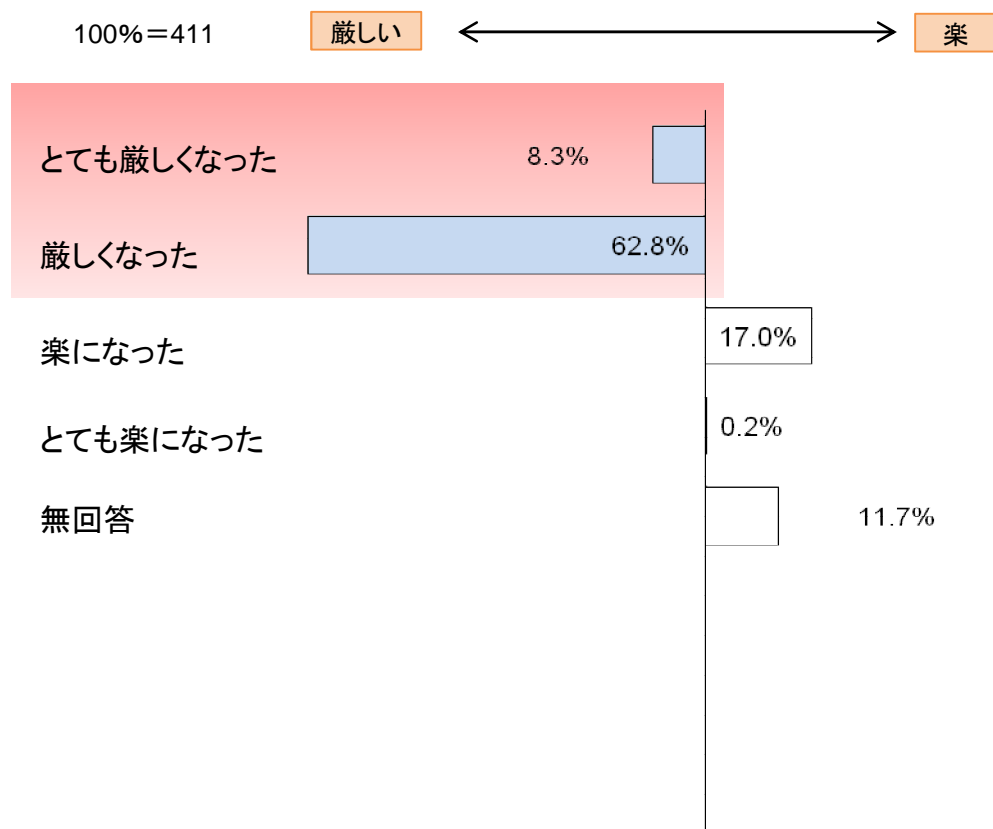
全体の7割強が、夜勤調整は極めて困難もしくは困難と回答している

夜勤72時間の勤務調整



全体の7割強が、72時間規制後の夜勤状況はとても厳しくなったもしくは厳しくなったと回答している

夜勤72時間規制後の夜勤状況の変化

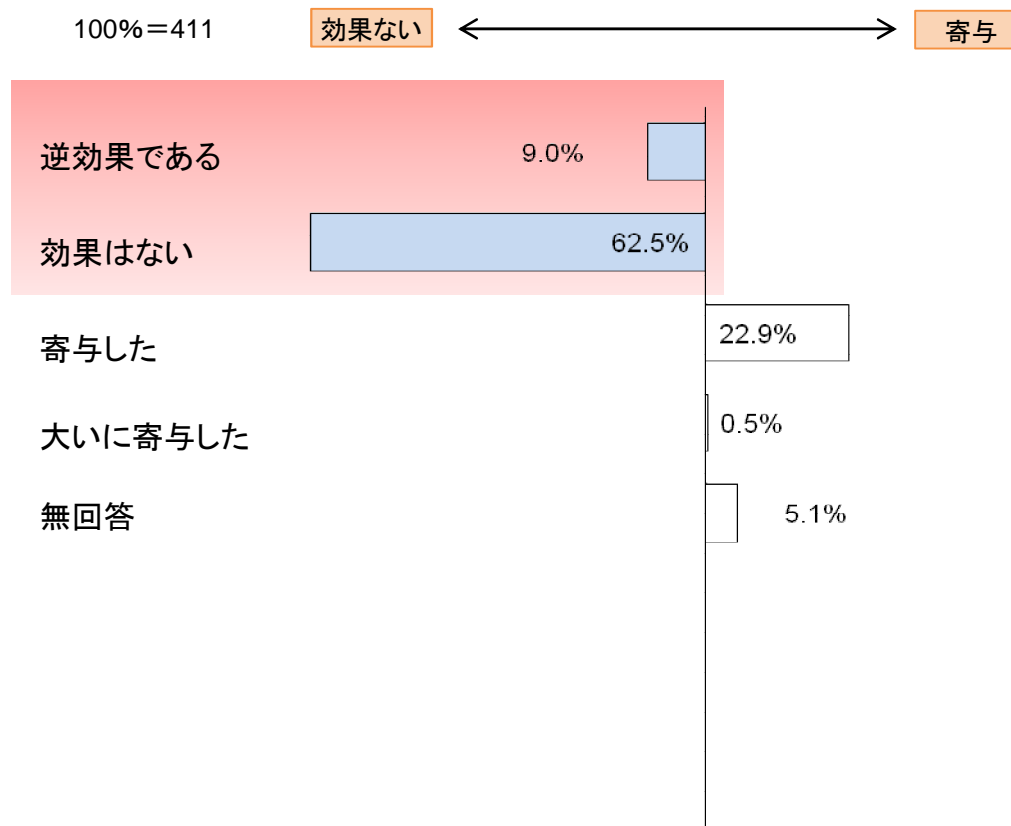


※無回答のうち6割強は、「変わらない」と回答している

四病院団体協議会「看護基準に関する緊急アンケート」

全体の7割強が、夜勤72時間規制後の医療安全への寄与は、逆効果もしくは効果はないと回答している

医療安全への寄与（夜勤72時間規制後）



※無回答のうち半数は、「変わらない」と回答している

四病院団体協議会「看護基準に関する緊急アンケート」